

発 明 届

受	付	日
本 部	年 月 日	
学 長	年 月 日	
理事長	年 月 日	

XX 年 YY 月 ZZ 日

学校法人 産業医科大学
理 事 長 殿

発 明 者	
所 属	〇〇学
職 名	准教授
氏 名	産 業 太 郎 印
所 属	△△学
職 名	助教
氏 名	産 医 次 郎 印
所 属	
職 名	
氏 名	印
所 属	
職 名	
氏 名	印

下記の発明をいたしましたので、産業医科大学知的財産管理規程第 4 条の規定に基づき届出いたします。

記

1 発明の名称

化学物質 X を含有してなる疾病 α の治療剤。

2 発明の内容（どの部分が特徴か。下線にて明確にしてください。）

化学物質 X、助剤 x 及び 溶剤 y からなる、疾病 α の治療剤。

3 技術分野（本発明が使われる分野）

治療方法 ・ 治療薬剤 ・ 治療器具 ・ 産業医学 ・ 試料解析 ・ その他

4 従来技術（本発明と比較できるように記載してください。先行文献があれば付記してください。）

化学物質 X、助剤 x 及び溶剤 y からなる、疾病 β の治療剤は公知である（特開平〇-〇〇号公報）。しかし、疾病 α と疾病 β は全く異なる病気であり、発病の原因も異なっている。化学物質 X の疾病 β の治療における作用機序は知られているが、疾病 α との関連性は知られていない。また疾病 α の治療薬成分として化学物質 Z が知られているが、化学物質 X とは全く異なる構造である。

先行文献	特開平〇-〇〇号公報
------	------------

5 発明の効果（従来技術と比較しての改良点や利点を記載してください。）

化学物質 X を含有する疾病 α の治療薬は、化学物質 Z を含有する疾病 α の治療薬と比較して、治療効果が 1.5 倍優れており、また副作用も軽減される。（動物実験より）

6 図面 有 ・ 無（ある場合は、添付してください。）

7 発明に至った研究課題

自由研究医科大学 准教授 角核 鹿鹿先生との共同研究。共同で Z X W 製薬株式会社から研究受託した。

8 発明に至った研究課題に係る総額 xxx, xxx 円

※経費の内訳（該当欄にレ点及び必要事項を記入ください。）

学内研究費 _____ 円

文部科学省科学研究費 _____ 円

厚生労働省科学研究費

受託研究費（ yyy, yyy 円 契約による制限 有・無）

共同研究費（ _____ 円 契約による制限 有・無）

奨学寄付金 _____ 円

その他（ _____ 円 契約による制限 有・無）

なし

9 発表予定（学外発表の予定または発表状況） （方法及び時期）・ 無

刊行物等による発表 刊行物等名：疾病αシンポジウム2009 投稿予定日：平成21年07月15日 刊行予定日：平成21年07月01日
学術団体等における研究集会での発表 学術団体等名： 研究集会等名： 予稿集発行予定日：平成 年 月 日 発表予定日：平成 年 月 日

10 譲渡の申出（大学帰属の同意） 有 ・ 無

11 共同研究者（学外の共同発明者がいる場合、すべてご記入ください。）

所 属	自由研究医科大学
職名、氏名	准教授 北 九州男
連 絡 先	03-wxyz-0011（内555）

12 権利持分（共同発明の場合）

発 明 者 等		氏名・所属・資格	持分割合	権利者（出願者）	権利持分
学内者	代表発明者	産業 太郎	60 %	産業医科大学	50 %
	共同発明者	産医 次郎	40 %		
			%		
学外者	共同発明者	北 九州男			50 %
					%
					%

※ 持分割合は、本学に権利譲渡する者の全体の割合を100とした場合の各発明者の持分割合（%）を記入ください。

共同研究者の権利持分が不明確（未検討）の場合は記入されなくても結構です。

（但し、後日必要となりますので、出願までに検討のうえ、ご報告下さい。）

13 その他の参考事項

共同研究の成果であり、共同出願するものである。またZXW製薬株式会社からの受託研究であり、特許出願については協議が必要である。

以 上